

TOPICS

原子力の安全対策について

環境放射線量の測定を開始します **12月1日から**

市では、有事に備えた平常時の放射線（環境放射線）の状態を把握するため、12月1日から市内9か所で測定を開始します。測定機は市役所本庁、各支所（8支所）に配備し測定を行います。測定結果は、市のホームページで公表します。

（環境放射線は、滋賀県でも定期的に測定をされており、県の測定結果と大きく異なる場合は、県や関係機関と協議し再調査等を依頼します。）



- 測定場所
 - ・市役所本庁、各支所（8支所）計9か所
- 測定方法
 - ・測定場所の地上高、約50cmと約100cmの2か所をそれぞれ5回測定します
- 測定値
 - ・5回測定し、平均値を測定値とします
- 測定回数
 - ・毎週月曜日に測定します
- 測定結果
 - ・市のホームページ(<http://www.city.nagahama.shiga.jp/>)で公表します

防炎危機管理課 原子力安全対策室 (☎65-6555)

12月1日～31日は年末の交通安全県民運動

冬の夕暮れ時は、特に事故が発生しやすい時間帯です。暗い色の服装での夜間の外出や、自転車の無灯火運転はドライバーから見えにくく大変危険です。明るい色の服装や反射材の利用等を心がけましょう。

<運動の重点>

- 高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

市民自治振興課 (☎65-8722)



TOPICS



11月9日に開催された県教育委員会の様子



11月9日の県教育委員会後に開かれた記者会見の様子

県教育委員会において 高校再編計画がストツプ

市では、7月11日の原案公表以来、一貫して、その決定プロセスや地域の意見を反映しない内容に対し、見直しを求めてきました。さらに最も影響を受ける現在の中学3年生やその保護者など、教育現場の混乱が生じないよう、早急に判断するよう県知事ならびに県教育長に伝えてきたところです。

11月9日、県教育委員会の定例委員会が県庁で開かれ、今年度中の策定を目指していた県立高校再編計画を来年度に先延ばしにすることが決定しました。これにより市内の長浜北高校・長浜高校の統合、長浜北星高校の定時制課程の廃止などについては、あらためて検討されることになりました。

委員会では事務局が、7月に示した原案に対し、長浜市や彦根市などから、計画の見直しを強く求められているということに加え、各地で反対運動が広がったことや、県議会で慎重な検討を求める決議が全会一致で可

【委員会の設置】

今年度における 市の取り組み内容

決されたことなど、これまでの経緯を説明され、また、中学3年生の進路決定の時期が迫っていることから今年度の策定を断念せざるをえないと報告されました。

これに対し、委員らは延期に理解を示しつつ、今回のプロセスに対し、反省し、今後の計画策定に向けては、地域の意見を十分受け止めたいと、県教委が主体的かつ責任を持って取り組むよう求めました。

県教育委員会の閉会後に行われた記者会見で、県教育長は「説明不足のまま計画を進めたため、納得してもらえなかった。今後は関係者の意見も聞きながら進めたい。」と話されました。

今回の決定により、県との信頼関係のもと、しっかりと長浜市の意見が反映されるよう、次のおり高校再編を含めた地域における教育ならびに人材育成のあり方について検討していきます。

企画広報課(☎65-6505)

学識経験者、幼小中の各学校代表者、PTA代表者、経済人等からなる「長浜の未来を拓く教育検討委員会」を設置し、地域の県立高校のあり方を含め、長浜市における幼小中から社会へつながる教育ならびに人材育成について議論します。議論の過程においては、各関係機関・団体等の意見を広くうかがい、多くの人の意見を反映したものとす予定でです。

【保護者アンケート調査の実施】
中学生、高校生の生徒を持つ保護者から、広く意見をお聞きするために、高校再編に関連したアンケートを実施します。

【子ども議会の開催】
高校進学を控える中学生を中心として、子どもたちが自らの地域の教育について考える機会を創出します。

【教育フォーラムの開催】
高校教育を含め、地域教育のあり方について広く市民の皆さんとともに意見交換を行うため、フォーラムやパネルディスカッションを開催します。

県立高校 再編計画

「一旦、立ち止まり、再検討」決定！
市では、独自に委員会を設け、検討していきます。